

科目名	国際コミュニケーション I	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			国際学科		□ 必修 ■ 選択
			学科		□ 必修 □ 選択
英文表記	Global Communication	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	みうら かおる	実務家教員担当科目	修得単位	2単位	
担当者名	三浦 薫	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	グローバルの波の中で世界では、言語だけでなく、まずはお互いの文化を尊重することの必要性が増しています。日本文化の魅力や価値をあらためて学びながら、様々な問題解決について考えながら、英語力を磨く講義です。				
到達目標	まずは海外についての視野を広げること、英語力の総復習とこれからの拡充にむける基礎作りです。英語に少し自信の無い人はこの機会に克服し、英語が得意な人は、この機会に基礎固めをし、大学の英語のベースを作ること。				
授業概要	世界の様々な情報を得ることで、視野を広げます。興味深いトピックを読むことを通して、4技能を身につけます。				
授業計画					
第1回	日米の学校事情について①スポーツについて				
第2回	日米の学校事情について②宿題				
第3回	日米の学校事情について③学校教育				
第4回	日米のライフスタイル①生活習慣				
第5回	日米のライフスタイル②食事				
第6回	日米の社会文化①挨拶				
第7回	日米の社会文化②子育て				
第8回	日米の社会文化③女性				
第9回	日米のテクノロジー①新幹線				
第10回	日米のテクノロジー②自販機やトイレ				
第11回	日米のビジネスとサービス①税				
第12回	日米のビジネスとサービス②医療				
第13回	日本の魅力①愛情				
第14回	日本の魅力②ポップカルチャー				
第15回	日本の魅力③海外への影響				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	事前に指示されている内容について予習してくること (1.5時間) 各授業の冒頭部分で実施される小テストの準備をすること (復習 1.5時間)				
履修条件 受講のルール	予習、復習ができること				
テキスト	Enjoying different cultures グローバル文化の中で学ぶ日本文化 南雲堂				
参考文献・資料	講義内で指示します				
成績評価の方法	試験 60% 小テスト 20% 発表 20% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験				

	を受けることができません。
オフィスアワー	木曜 2限、4限
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	英語に自信の無い人も、ある人も、学ぶことが沢山あるはずです。